

国語 第2学年

1. 教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。

2. 年間計画

【1 学期】	【2 学期】	【3 学期】
・物語文、説明的文章 ・文法、言語事項 ・硬筆 ・スピーチ	・物語文、説明的文章 ・文法、言語事項 ・古典文学 ・書き初め	・物語文、説明的文章 ・文法、言語事項 ・レポート作成

3. 評価の観点、評価基準と評価方法

	①知識・理解	②思考・判断・表現	③主体的に取り組む態度
評価基準	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
評価方法	・定期テスト ・小テスト ・授業中の取り組み など	・定期テスト ・小テスト ・授業中の取り組み など	・授業態度 ・小テスト ・提出物 など

社会科 第2学年

1. 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。

2. 年間計画

【1学期】 ≪歴史的分野≫ B 近世までの日本とアジア (3) 近世の日本 (ア) 世界の動きと統一事業 (イ) 江戸幕府の成立と対外関係 (ウ) 産業の発達と町人文化 (エ) 幕府の政治の展開 ≪地理的分野≫ C 日本の様々な地域 (1) 地域調査の手法	【2学期】 ≪地理的分野≫ (2) 日本の地域的特色と地域区分 ①自然環境 ②人口 ③資源・エネルギーと産業 ④交通・通信 (3) 日本の諸地域 ①自然環境 ②人口や都市・村落 ③産業 ④交通や通信 ⑤その他 (4) 地域の在り方	【3学期】 ≪歴史的分野≫ C 近現代の日本と世界 (1) 近代の日本と世界 (ア) 欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き (イ) 明治維新と近代国家の形成 (ウ) 議会政治の始まりと国際社会との関わり (エ) 近代産業の発展と近代文化の形成
---	---	---

3. 評価の観点、評価規準と評価方法

	①知識・理解	②思考・判断・表現	③主体的に取り組む態度
評価規準	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめているか。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしているか。	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしているか。
評価方法	・定期テスト ・単元の確認テスト ・授業用ノート ・レポート	・定期テスト ・レポート ・話し合い活動	・授業中の観察 ・レポート ・自己評価シート

数学 第2学年

1. 教科の目標

基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、物事を数学的に考える力を身につけること。
また、数学が生活や問題解決に役立つことを知り、数学のよさを理解すること。

2. 年間計画

【1 学期】	【2 学期】	【3 学期】
・ 式の計算 ・ 連立方程式 ・ 1 次関数	・ 1 次関数 ・ 平行と合同 ・ 三角形と四角形	・ 三角形と四角形 ・ 確率 ・ データの比較

3. 評価の観点、評価規準と評価方法

	①知識・理解	②思考・判断・表現	③主体的に取り組む態度
評価規準	文字を用いた式と連立方程式、平面図形、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、数学的に表現・処理する技能を身につけようとしている。	文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の性質や関係を直感的に捉え論理的に考察する力、データ分析に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断する力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさに気づいて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。
評価方法	・ 定期テスト ・ 小テスト ・ 授業中の問題への取り組み など	・ 定期テスト ・ 小テスト ・ 授業中の問題への取り組み など	・ 授業態度 ・ 小テスト ・ 提出物 など

理科 第2学年

1. 教科の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

2. 年間計画

【1学期】	【2学期】	【3学期】
・物質のなりたち ・物質どうしの化学変化 ・酸素がかかわる化学変化 ・化学変化と物質の質量 ・化学変化とその利用 ・生物と細胞	・植物のからだのつくりとはたらき ・動物のからだのつくりとかたらき ・刺激と反応 ・静電気と電流	・大気の動きと日本の天気 ・静電気と電流 ・電流の性質 ・電流と磁界

3. 評価の観点、評価規準と評価方法

	①知識・理解	②思考・判断・表現	③主体的に取り組む態度
評価規準	理科の基本的な概念や原理・法則などを理解しているか。観察・実験の基本操作や計画的な実施、結果の記録や整理、資料の活用の仕方を身につけているか。	見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈する。思考・判断・表現しているかを発言や記述の内容、ペーパーテストなどから状況を把握する。	生徒が自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしているかを発言や記述の内容、行動の観察などから状況を把握する。
評価方法	・行動観察 ・発言発表 ・小テスト ・レポート ・定期テスト	・行動観察 ・ワークシート ・発言発表 ・小テスト ・レポート ・定期テスト	・行動観察 ・自己評価 ・発言発表 ・小テスト ・レポート ・定期テスト

音楽科 第2学年

1. 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。

2. 年間計画

【1 学期】	【2 学期】	【3 学期】
・ 歌唱 ・ 器楽 ・ 鑑賞	・ 合唱コンクール ・ 鑑賞 ・ 創作	・ 歌唱 ・ 器楽 ・ 鑑賞

3. 評価の観点、評価規準と評価方法

	①知識・理解	②思考・判断・表現	③主体的に取り組む態度
評価規準	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けているか。	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができているか。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しもうとしているか。
評価方法	・ 定期テスト ・ 実技テスト ・ 授業中の取組み など	・ 定期テスト ・ 実技テスト ・ 授業中の取組み など	・ 授業態度 ・ 提出物 など

美術 第2学年

1・教科の目標

- (1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。
- (2) 対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。
- (3) 自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

2・年間計画

【1学期】	【2学期】	【3学期】
・風景画について（鑑賞） ・ころひかれる風景（絵画） ・水墨画の世界（絵画）	・この場所・この場面（彫塑） ・ピクトグラムとサイン計画（デザイン）	・ポスターで伝える（デザイン・工芸）

3・評価の観点、評価規準と評価方法

	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的取り組む態度
評価規準	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫して創造的に表している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。
評価方法	・授業中の制作への取り組み ・ワークシート ・振り返りシート ・作品	・授業中の制作への取り組み ・ワークシート ・振り返りシート ・作品	・学習準備 ・提出物 ・鑑賞の学習活動 ・他教科等で獲得した、技能や知識を生かしている。

保健体育科 第2学年

1. 教科の目標

【体育分野】

- ・ 各種の運動の合理的な実践を通して運動の楽しさや喜びを味わうとともに、運動技能を高めることができるようにする。
- ・ 各種の運動を適切に行うことによって、体力の向上を図り、たくましい心身を育てる。
- ・ 各種の運動を行うことで、学び方を学習し、生徒が主体的に活動する態度を育てる。
- ・ 運動における競争や協同の経験を通して、公正な態度や進んで規則を守り、互いに協力して責任を果たすなどの態度を育てる。

【保健分野】

- ・ 健康の成り立ちと病気の発生要因、生活習慣と健康について、課題を発見し、課題の解決に向けて学習に自主的に取り組み、理解できるようにする。
- ・ 心身の発達と心の健康について、課題を発見し、課題の解決に向けて学習に自主的に取り組み、理解できるようにする。

2. 年間計画

【1 学期】	【2 学期】	【3 学期】
保健・体育理論・体づくり運動・陸上競技・器械運動	保健・水泳・陸上競技・球技・ダンス・武道	保健・球技

3. 評価の観点、評価規準と評価方法

	①知識・理解	②思考・判断・表現	③主体的に取り組む態度
評価規準	種目による		
評価方法	・ 定期テスト ・ 授業観察 ・ 学習カード など	・ 定期テスト ・ 授業観察 ・ 学習カード など	・ 定期テスト ・ 授業観察 ・ 学習カード など

技術・家庭科 技術分野

1. 教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2. 年間計画

	1年生	2年生	3年生(隔週で授業します)
1学期	A：材料と加工の技術 (木材加工の製作) D：情報の技術	実施しません	B：生物育成の技術 (かいわれ大根の栽培) D：情報の技術
2学期	A：材料と加工の技術 (木材加工の製作) D：情報の技術	C：エネルギー変換の技術 (ラジオ製作) D：情報の技術	B：生物育成の技術 (かいわれ大根の栽培) D：情報の技術
3学期	実施しません	C：エネルギー変換の技術 (ラジオ製作) D：情報の技術	D：情報の技術 (プログラミング)

※感染症拡大防止の観点や授業の進行状況等により、題材・教材を変更することがあります。

3. 評価の観点、評価規準と評価方法

	①知識・理解	②思考・判断・表現	③主体的に取り組む態度
評価規準	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

①知識及び技能
・実技テスト ・定期テスト ・創作した作品 ・授業プリント
②思考力、判断力、表現力
・授業プリント ・定期テスト ・授業中の様子 ・授業の課題
③主体的に取り組む態度
・授業中の様子 ・授業の課題 ・授業プリント ・提出物 ・定期テスト

技術・家庭科 家庭分野

1. 教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2. 年間計画

	1年生	2年生	3年生(隔週で授業します)
1学期	実施しません	B 食生活	A 家族、家庭生活 (幼児の生活と家族)
2学期	B 衣生活(布の製作物)	B 食生活(調理実習) C 消費生活、環境	A 家族、家庭生活 (幼児とのかかわり)
3学期	B 衣生活(布の製作物) B 住生活	実施しません	A 家族、家庭生活

※感染症拡大防止の観点や授業の進行状況等により、題材・教材を変更することがあります。

3. 評価の観点、評価規準と評価方法

	①知識・理解	②思考・判断・表現	③主体的に取り組む態度
評価規準	家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。	自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

①知識及び技能
・ 定期テスト ・ 創作した作品 ・ 授業プリント
②思考力、判断力、表現力
・ 授業プリント ・ 定期テスト ・ 提出物 ・ 授業中の様子
③主体的に取り組む態度
・ 授業中の様子 ・ 実技 ・ 授業プリント ・ 提出物 ・ 定期テスト

英語 第2学年

1. 教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語 による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単 な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケー ションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2. 年間計画

【1 学期】	【2 学期】	【3 学期】
NEW HORIZON 2 Unit0～Unit3	NEW HORIZON 2 Unit4～Unit6	NEW HORIZON 2 Unit 7
・ 過去進行形（復習） ・ 未来形 ・ SVOO ・ SVOC ・ 接続詞（when, if, because, that） ・ 不定詞 ・ It is ...+to+動詞の原形	・ have to～・助動詞 must ・ 動名詞 ・ show＋人＋how to～ ・ 主語＋be 動詞＋形容詞＋that ・ 比較級・最上級	・ 受動態 ・ 復習

3. 評価の観点、評価規準と評価方法

	①知識・理解	②思考・判断・表現	③主体的に取り組む態度
評価規準	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているか。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができるか。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。
評価方法	・ 定期テスト ・ 小テスト ・ 授業中の取組みなど	・ 定期テスト ・ パフォーマンステスト ・ ワークシートの記述 ・ 授業中の取組みなど	・ 授業に取り組む姿勢 ・ 自分の活動への振り返り ・ パフォーマンステスト ・ 提出物など